

年次報告書

2020



MAKE HAPPY 代表挨拶



いつも『MAKE HAPPY』の活動を応援して下さい、また、現場で同志として動いて下さり、誠にありがとうございます。

2020年は当団体としても激動の一年でした。1月1日から理事長に就任した矢先、新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の世界的な流行によりこれまでと同様の活動ができない環境となり、今まで「動けば変わる」の言葉を胸に活動して参りましたが、動くことができない中で新しい活動の形を模索する一年となりました。

復興支援では、長野の豪雨水害の支援がひと段落し、長野の仲間と活動の継続を約束した直後に、熊本県球磨川流域の豪雨水害が起こり、いち早く現地に入り支援を開始しました。発災直後に見た人吉の街は、東日本大震災を思い出すような状態で心が苦しくなりました。さらにコロナ禍でボランティアも思うように活動ができない中、多くの方を笑顔にすることができました。例えば、床下や壁はがしなどの専門的な技術で支援するだけでなく、長野のりんご農家と熊本の被災者と支援者を繋ぐ企画や、クリスマスプレゼントで灯油を配ることをきっかけに被災者を元気づける企画などを行いました。

間伐プロジェクトでは、2015年を最後に5年ぶりの再スタートで間伐が必要な森の募集から始まり、お話し会や実際に山に入つての体験会を実施しました。また、岡山の地元の方が立ち上がり自分たちで体験会を実施するなど、新たな動きのきっかけを作ることが出来ました。さらに、兵庫県丹波市のシェアビレッジを間伐の拠点として決め、多くの人が森に関わる場所づくりの第一歩をふみ出すことができました。

植林プロジェクトでは、当初予定されていた中国内モンゴル植林ツアーの継続と、南アフリカ／モンゴル国／オーストラリアの植林ツアーが、コロナで中止となりました。しかし、沙漠の緑化を止めたくないという想いから、中国内モンゴル植林についてはマイツリー企画で支援をいただき、現地の農家の方々の手だけによる植林という形で希望を届けることが出来ました。また東北植林プロジェクトでは、宮城県内で採取した種を無事に育てることができ、植樹祭など参加者の制限がかかったものの、約16000本の育苗を継続することが出来ました。東日本大震災の発災から9年目も宮城県の住民の方々に寄り添い、希望の種を心に植える活動ができたことに感謝しております。

団体としては17年目になるものの、私を始めスタッフ一同まだまだ未熟ではありますが、世界のみならず心をつなぐ、地球に笑顔と希望を届けて参りますので、今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。

理事長 谷口たもつ（かごしマン）

2020年度 会計報告 収支計算書 (2020/1/1 ~ 12/31)

●収入の部

	単位(円)
会費	2,048,641
寄付	21,518,905
事業収入	414,446
その他収益	738,031
	24,720,023

●支出の部

	単位(円)
事業費(活動費)	23,177,279
管理費	588,196
売上原価	122,552
その他	72,000
	23,960,027

ハッピーサポーター募集中

NPO法人MAKE HAPPYの月額制(1000円~)の会員のことで

- 金額：月額1000円から
- 会員特典あり(会員優待イベントなど)
- 年に一度活動報告書が届く
- クレジット決済
- 口座引き落とし 可能
- 年払い



NPO法人MAKE HAPPY

090-9727-8007 / info@makehappystory.com
〒986-0322 宮城県石巻市桃生町給人町141-10 リバーイースト105
<https://www.makehappystory.com/>

